



2020年5月13日

各位

会社名 株式会社カーチスホールディングス
 (コード番号 7602 東証第2部)
 代表者名 取締役兼代表執行役社長 大庭 寿一
 問合せ先 経営企画部課長 高橋 英知
 (TEL 03-3239-3185)

剰余金の配当（無配）に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2020年3月31日を基準日とする剰余金の配当を行わないことを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 配当（無配）の内容

	決定額	直近の配当予想 (2020年2月12日)	前年実績 (2019年3月期)
基準日	2020年3月31日	2020年3月31日	2019年3月31日
1株当たり配当金	0円00銭	4円00銭	4円00銭
配当金総額	-	-	79百万円
効力発生日	-	-	2019年6月28日
配当原資	-	-	利益剰余金

2. 配当（無配）の理由

2020年2月12日公表の「2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」にて開示いたしました、2020年3月期の期末配当金につきまして、無配とさせていただきますことといたしました。

利益配分につきましては、当社は、株主の皆様に対する利益還元を重要な経営課題として認識しており、将来の事業展開と経営体質の強化のため内部留保を確保しつつ、安定的に適正な利益還元の実行を基本方針としております。

2020年3月期の業績につきましては、売上高、営業利益、経常利益は予想を下回ったものの、期初より『顧客ファースト』を掲げ、良質車輛の仕入強化を図り、顧客へ直接販売する質を重視した「買取直販」営業施策を徹底したことにより、粗利益率の改善が図れたこと、並びに構造改革による経費削減を行ってきた結果、利益面では、3期連続赤字からの脱却を図ることができております。

しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大による消費マインドの冷え込み、オークション相場の急激な下落などの外部悪化要因の影響により、当面は、国内販売における売上げの不確実性等、厳しい状況が続くことが見込まれることから、内部留保を高めるとともに、国内及び海外事業への戦略的な投資を進めることにより業績の向上を図ることが、中長期的な視点では株主の皆様に対してより大きな還元ができるものと判断し、このような結論にいたしました。

株主の皆様には、今回の無配という結論に対して深くお詫び申し上げますとともに、大幅な復配を目指して、一層の業績拡大を達成すべく尽力してまいりますので、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

以上